

第 6 号

2017.3 発行

MARCH
2017

文部科学省博士課程教育リーディングプログラム

筑波大学グローバル教育院

エンパワーメント情報学プログラム

NEWSLETTER

平成28年度エンパワーメント情報学プログラム 第1期修了生が出ました!

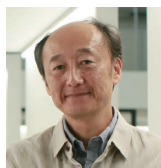
2016年度EMP修了生

村田 耕一、若生 遼、潘 雅冬



エンパワーメント情報学とは

「人の機能を補完し、人とともに協調し、人の機能を拡張する情報学」として、本プログラムが提唱する新しい学術領域です。これからの人類社会にとって、安全性、利便性、心の豊かさの向上といった様々な観点から、人の生活の質を向上させる工学システムを創出できる人材の育成を目指しています。



エンパワーメント情報学
プログラムリーダー・教授
岩田 洋夫



(株)日立製作所
研究開発グループ
リーダー主任研究員
影広 達彦



日本電気(株)
データサイエンス研究所
主幹研究員
塚田 正人

修了生へのメッセージ

本プログラムは初の修了生を世に送り出すところまで来ました。博士課程リーディングプログラム事業が産官学にわたって活躍できる博士人材の育成を目的とし、文部科学省からも就職率100%のプレッシャーがかかる中で、我々が用意した実践力を育成する演習・実習科目を習得した学生が、全員企業に就職できたことは、大変誇りに思います。博士課程リーディングプログラム事業では、修了生のネットワーク作りも評価項目に入っているため、最初の修了生が出ると同時に同窓会組織を立ち上げます。修了生の皆さんは、是非社会に出てからの経験を、後輩たちにフィードバックしてほしいと思います。

企業から見たエンパワーメント情報学プログラム

私は企業の研究所に20数年勤務して参りましたが、教員としてお声掛け頂き、准教授(グローバル教育院)として活動しております。本プログラムで学生と接し、ポテンシャルの高さと、前向きな意欲を感じ、高く評価させて頂いています。現在、社会はグローバル化し、多様性によって見通しが難しくなっていると思います。企業としても「作れば売れる」という時代は終わり、お客様と一緒に将来を考え、ビジネスに繋げることが必須となっています。本プログラムでの教育は、まさに、これからの社会動向において、新たな価値を見出すアプローチの貴重な学習課程になっていると思います。将来を見据えて切磋琢磨し、世界でイノベーションを起こすような活躍を期待します。

修了生へのメッセージ

エンパワーメント情報学プログラム第1期生の皆様、課程修了誠におめでとうございます。2014年度より教授(グローバル教育院)として、企業研究者の立場でインターン受入や弊社若手研究者との技術交流会を開催させて頂きました。皆様一人一人が強い意志を持ち研究活動に真剣に取り組んでおられる姿を拝見し、実践の場に出ても十分で活躍できると確信した次第です。今後は、プロフェッショナルとして社会に旅立たれます。大きく変動する昨今の社会情勢に翻弄される場面も多々あると思いますが、恐れることはありません。新しい社会価値を創造するんだという大きな目標を持ち、失敗を恐れることなく難しい課題に果敢にチャレンジしてください。皆様のご活躍をお祈りします。

